

The lady's magazine, 1771-1831.

London, Printed for R. & Robert. 22×14cm. <K380. 5-L> 文献番号 10-16
Hiler p. 520 Colas 1711-1713 Lipper. 4565

『ザ・レディズ・マガジン』（婦人雑誌）1771年-1831年

1770年にロンドンで刊行された本誌は、ファッション誌（モード誌）の創始といわれている。

<ファッション誌>とはどういうものであろうか、ここでその定義づけをしておこう。印刷術や服飾文化が今日ほど発達していない18世紀では、現代のファッション誌とは多少性格が異なるが、まず第1にファッション・プレートが挿入されていることであり、第2に服飾の主題のもとに一つのタイトルで継続的に刊行されるという条件が必要である（タイトルやサブ・タイトルの変遷は多いが）。次にファッション・プレートについてであるが、衣装を描いた衣装版画（服飾版画）は、17世紀前半ぐらいまでは階級服や民族服など、すでに着られた過去の衣装を記録<record>として描いた、いわゆるコスチューム・プレートとは区別され、現在着られている、またこれから流行するであろう予測もめられた衣装を描いた図版をいう。ファッション・プレートは突如出現したのではなく、服飾文化の発展とともにコスチューム・プレートが徐々に変容したものである。

服飾関係の文献は16世紀後半ごろから刊行されるようになるが、出版形態からみると単行書であり、雑誌形態の出版物が刊行されるのは、1世紀のちの1670年代で、1672年『メルキュール・ガラン』（文献番号10-26）が最初といわれている。しかし、この『メルキュール・ガラン』誌は宮廷雑誌ともいべきもので、上流社会や宮廷ニュースを主たる内容とし、服飾雑誌ではない。だが、1678年1月号に「冬の衣装」と題し、宮廷に出入りする貴族と貴婦人の2枚の銅版画モノクロ図版が挿入されていることから、ファッション・プレートとしては、これが最初期の作品といわれている。

『ザ・レディズ・マガジン』も当時この種の雑誌がそうであったように、小説、詩、演劇、音楽、王室情報、投書、結婚、誕生、逝去の告知などを内容とする一種の婦人総合雑誌で、発刊当初から月1枚程度のファッション・プレートが挿入されていることから、ファッション誌の創始といわれる。発刊当初は図版は単色図版であったが、人々はたいていそれに自分で彩色をほどこした。

1800年に入り、目次に「パリのファッション」と「ロンドンのファッション」という見出しが継続的に掲載されるようになると、流行情報と共に美しい彩色図版が挿入されるようになった。また、このころになると、創刊号から見られる楽譜や図案などの折り込みページも少なくなり、これらは新シリーズになる1820年ごろには全く姿を消した。本誌は1770年から1837年まで続刊されたが、その間、副題、シリーズ形式などをたびたび変えており、Hiler及びColasの文献目録でも、副題とその年号、シリーズ番号と年号などが必ず

しも一致していない。こうしてサブタイトルをかえて他社から刊行されたこともあったとみられる。ここでは本館所蔵のものをもとに、その変遷をたどってみる。

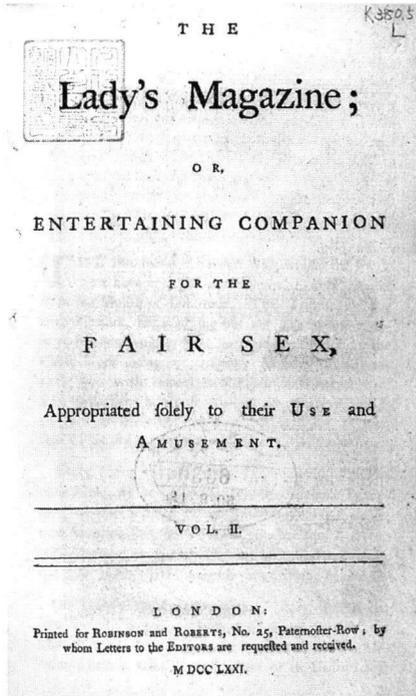
1770—1819年 The lady's magazine, or entertaining companion for the fair sex, appropriated solely to their use and amusement. v. 1-50. Printed for Robinson and Roberts. 「婦人雑誌, 女性のための楽しい仲間, 慣習と娯楽を独り占めにした」

1820—1829年 The lady's magazine, or mirror of the belles-lettres, fashions, fine arts, music, drama, & c. A new series. v. 1-12 (?). Printed for the proprietor, published by S. Robinson. 「婦人雑誌, 文芸, 服飾流行, 美術, 音楽, 演劇などの鏡」新シリーズ。

1830—1837年 (?) The lady's magazine, or mirror of the belles-lettres, music, fine arts, drama, fashions, & c. Improved series. v. 1- [?]. Published by S. Robinson. 同改訂シリーズ。

本館には, 1771年から1831年までの56冊が所蔵されており, うち1825年から1830年までの8冊が重複している一方, Hilerの文献目録記載の総刊行年と比較すると, 1770, 1776, 1779-1780, 1782, 1801, 1814-1815, 1817-1822, 1832-37年の各巻が欠本となっている。

本誌に続き, フランスでは『ギャルリー・デ・モード』『キャビネ・デ・モード』などが創刊され, 1830年代にはファッション誌の黄金期を迎える。(平井)



標題紙 1771年



最新のドレスを着た二人の婦人 1775年5月号